

甲佐町議会だより

第84号

平成10年4月28日



清流

発行 甲佐町議会

〒861-4696

熊本県上益城郡甲佐町大字岩下194

TEL 096-234-1111

FAX 096-234-3964

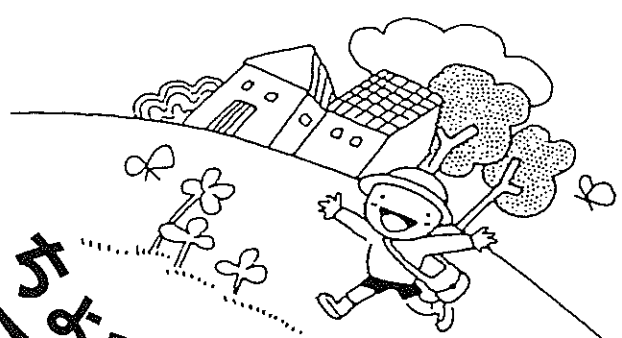


グラウンドゴルフの後、舞踊・カラオケなどで大賑わいの仁田子部落の橋祭り

平成10年度予算	龍野小プール改築に着手！	2 ~ 3
教えて下さい！	今年の事業の主なもの	4 ~ 5
一般質問に5人	あなたにかわり町の考え方を聞く	6 ~ 10
これだけは聞いておきたい	Q & A	12 ~ 13
傍聴席から一言	県議長会表彰の受賞者4人	14

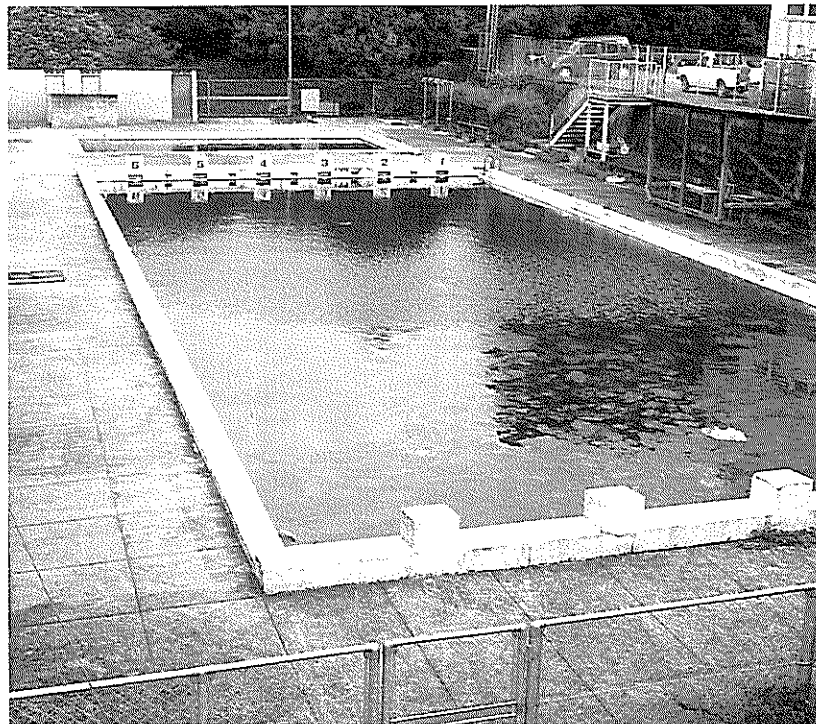
決まる 前年度比 8.8%減 建設決定!

さよつと
今年の事業をのぞくと



三月定例会は、三月六日から十九日までの十四日間の会期で開かれ、平成十年の一般会計をはじめ、五特別会計予算をはじめ、条例改正、請願、陳情などを審議した。

平成十年度は特に目新しい事業はないが、主な事業を抜粋して町民の皆様にご紹介いたします。



老朽化と漏水に悩む龍野小プール



新装なった校舎の周辺整備が計画されている乙女小

龍野小学校プール建設費
7,250万円
乙女小学校屋外整備事業費
1,568万円

龍野小学校のプールが老朽化し、最近では漏水が目立ちプール改修が叫ばれていた。本年度はいよいよ新しいプール建設に着工する。

乙女小学校は児童数の増加に伴い校舎の新增築も完成。本年度は新築校舎の屋外整備事業に着手する。

平成10年度

一般会計予算 48 億円 龍野小学校プール



甲佐町各会計別予算の推移

会計名	平成8年度	平成9年度	平成10年度
一般会計	42億4,080万円	53億0,345万円	48億3,590万円
国民健康保険会計	12億8,286万円	13億3,576万円	12億1,596万円
老人保健会計	22億5,355万円	22億7,382万円	24億8,813万円
有線放送会計	3,847万円	4,470万円	5,397万円
住宅新築資金会計	1,820万円	542万円	533万円



永年の念願であった町道辺場山大道線改良工事

**町道改良舗装事業費
2億5,900万円**

本町の道路網整備の為、町道岩下益城橋線の道路改良ほか9路線の改良舗装を実施。

**老人デイサービスB型運営委託事業
3,150万円**
**老人デイサービスE型運営委託事業
1,669万円**
**老人短期入所運営委託事業
2,010万円**
**在宅介護支援センター運営委託事業
1,151万円**

高齢化福祉社会が進むにつれ、さらには介護の重度化、長期化がすすみ介護を行う家族の高齢化、高齢者とその家族の同居率の低下、女性の社会進出などの要因により、家族による介護は十分ではなくなった為に、町では町内の施設に委託して各種の福祉サービスを行っています。

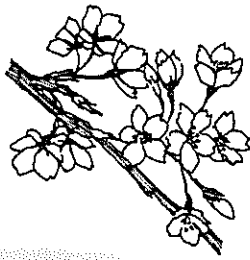


高齢化社会に向け老人デイサービスの委託施設（桜の丘）

下さい



の主なもの



**満5歳未満児まで
入院費用無料化
925万円**

従来、満4歳未満児までの入院医療費(通院は満3歳未満児まで)無料化していたが、今年4月1日より満5歳未満児までの入院医療費(通院は従来どおり)に無料化が拡大された。



**麻生原キンモクセイ
周辺道路整備事業
3,665万円**

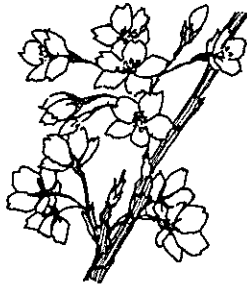
麻生原部落のキンモクセイは国指定の天然記念物に指定され、大きさでは日本一といわれている。昨年に引き続き県道今吉野甲佐線より進入道路の整備が実施される。



桜づつみ (津志田河川自然公園)

**津志田河川自然公園
桜づつみ整備事業
1,000万円**

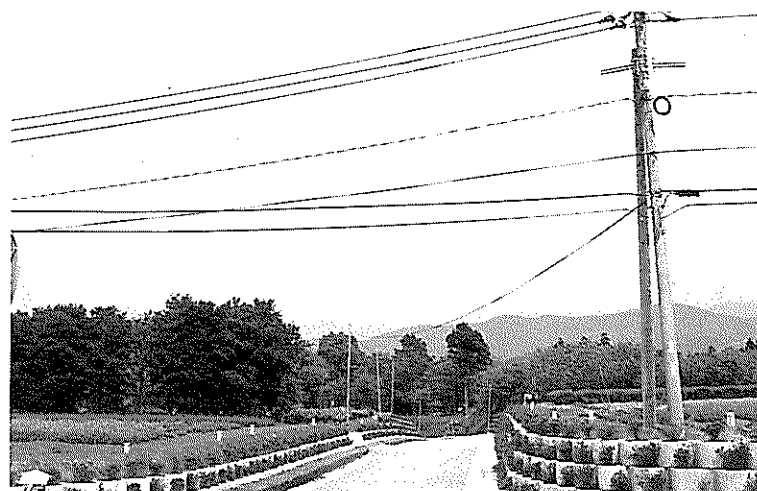
昔は毎年春になると各地で花見が繰り広げられ、桜の名所では大変な賑わいを見せていました。津志田河川自然公園では昨年より桜の木を50数本植樹して桜の並木を作っています。本年は東屋・ベンチなどを設置する。



**出産祝金制度新設
140万円**

本年から新しく新設された制度で、本町の少子化対策として町民の出産に際し第3子から一人当たり5万円の祝金を贈ることになった。

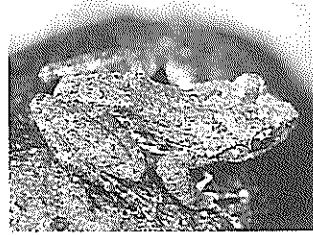
麻生原キンモクセイ進入道路



教えて



今年の事業



カジカガエル

川の上流や中流にすむ。
体の大きさオス3～4cm、
メス5～7cm。
クモや昆虫を食べる。

山村振興事業

カジカガエルの里づくり事業

5,975万円

宮内の緑川流域にはカジカガエルが生息しています。広瀬部落の緑川のほとりにバンガロー・管理棟それぞれ1棟ずつとキャンプサイトをつくりカジカガエルの里づくりを目指します。

小型合併浄化槽設置工事状況



小型合併処理 浄化槽設置補助金 5,439万円

家庭用雑排水や尿尿などを合併浄化し、河川への汚濁水の排水を防止するため平成5年度から開始した事業である。

昨年までに324基を設置しており、本年度は130基を計画している。

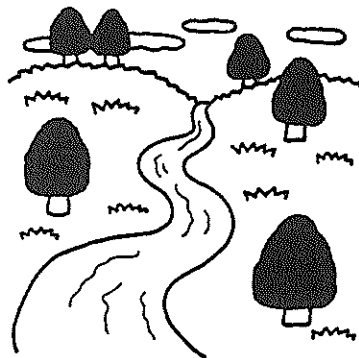
小鹿農道（坂谷口）



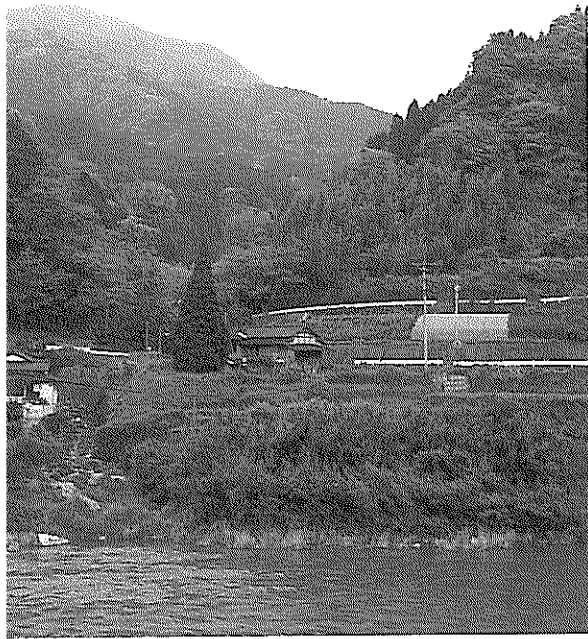
船津・小鹿 農道新設事業 7,298万円

小鹿農道新設事業（幅員4m・延長1,691m）も今年で完了予定で130mの舗装と安全施設の設置を実施する。

船津部落南原農道は昨年に引き続き幅員4.5m延長500m程度の農道新設を計画している。



バンガロー建設予定地（広瀬地区）





ご質問ください!

一般質問

答弁

第一回定例会の一般質問は三月十二日に行い、五人の議員が登壇、町の施策をたどした。

高木 英吉 議員



めんの山の道路開設はないか?

地権者よりアンケートを取りたい

高木議員

めんの山を低くし開発するなら、広大な土地が生まれ、農業用地の拡大につながるのではないかと。下豊内地域は急傾斜危険区域となっており、その緩和・解消になるのではと思う。又、町の東部に位置するめんの山の開発は市街地の活性化につながるのではないかと。

めんの山については地権者八十二名、面積十六ヘクタールあり、農業の問題で開発するのか、歴史的なものをとらえて活性化につなげていくのか、地権者よりアンケートを取り、意見を聞きたい。
高木議員
めんの山の開発は、文化圏、住環境の整備によって住宅地ができるという観点から重要であると思うが。

町長

住宅政策は、現在進めているが、めんの山については住民の意見を聞きたい。
高木議員

今後、めんの山に通じる道路開設はないか?
耕地課長

平成十一年度からスタートする中山間総合整備事業の中で、三本松甲佐線から南谷川に沿って、昔の懐裏園道路を利用して、山上幹線の林道まで約一キロの農道の開設を計画している。

大井手川の汚染にどう対応するのか? 公共下水を将来計画したい

高木議員

現在、大井手川の改修が行われ、水が少ない関係か、非常に汚い。しのびない気持ちであるが、川の状態を知りたいが。
保健課長

酸素要求量(DOD)の数字上からみれば、普通、河川の基準値が二PPMであるが、やな場上流では年間変わらないが、渇水時期に於いて、荒瀬病院前、高校前で基準値を相当オーバーしている。

高木議員

汲み取りと浄化槽・合併浄化槽を設置した場合の河川に対しての汚染度はどうなのか?
保健課長

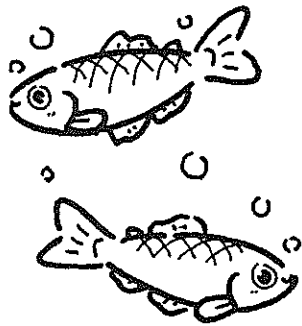
合併浄化槽が汚染防止に一番効果があり、家庭雑排水と単独浄化槽が一番の汚染源となっていると思う。
高木議員

市街地では、合併浄化槽が設置できない状況であるが、家庭排水を見直すべきでは。
町長

個人の合併浄化槽、集合して浄化する方法を推進し、排水については、公共下水を将来計画したい。



清正公山よりめんの山を望む



汚染が心配される大井手川

北畑 常博 議員

農業活性化の政策は？

農業ビジョンを完成させたい

北畑議員

今日の農業情勢は厳しいものがあり、経営面、後継者問題など解消すべき点多く、また高齢化を迎え大変な時期にきている事は周知の通りである。これ迄町当局は、アリアムやニラの生産等で日本一づくりをめざされたが中途半端な状況であるし、今後の農業の活性化に対し、どの様な政策をもって取り組むのか町長の見解を問う。

町長

国際化や高齢化で本町においても農業問題が心配されているが、農業は本町の基幹産業であり行政最大の課題であると認識している。その様な観点から今回、本町の農業政策の基本となる「農業ビジョン」を作成した。ニラやアリアム生産や樹芸公園、また流通計画についても網羅しており、今

後農家の方々の意見も取り入れ、「農業ビジョン」を完成させたい。

財政力と代行事業との関係は？

県代行事業には全力で要請!!

北畑議員

本町の財政状況を考えた時に、公債比率は熊本市よりも低く、また財政力指数は中央町よりも高い状況にある。健全財政とは人口が増え町民が豊かに暮らせてこそと認識しているが、町長は借金を減らし健全財政を確保する考えである。しかし起債なしでは事業は不可能だし逆に財政力指数の低い町村は県代行事業で取り組み事業が進められている。本町は、益城橋岩下線についても代行事業は見通しがついてないし、福祉センターは七億をかけて建設するといったことではどうかと思う。町負担の少ない事業への取り組みを進めるべきと思うが町長の見解を問う。

町長

岩下益城橋線の過疎代行については現在、中央町から益城橋に下ろす計画ができていて、全力を尽くして要請している。代行事業に財政力指数がどう影響するかという点では、直接的な制約はないと聞いている。



県代行事業での整備を是非とも!! (町道益城橋岩下線)

大井手川改修と併せて下水道を!! 住民の意見を聞いて計画したい!!

北畑議員

昔の風情を取り戻そうと

町長

下水道については将来計

画として当然町が考えなくてはならない。市街地周辺に計画した場合、約四十五億円くらいかかる。また管理の問題もあり慎重に検討したい。今後住民にアンケートを取り、十分意見を聞きたい。

自然石による大井手川改修が進められ、また合併浄化槽も併せて取り組んでいるが、河川の浄化を根本的に解決するには、下水道整備しかないと思う。それには従来の道路に埋設する方法ではなく、市街地は大井手川に埋設する方法をとれば、将来、二重の投資をしなくてよいのではないか。



農業の活性化をめざし農業ビジョンを作成中!!

庁舎建設について町長の考えを明確に

町民の願い、しかし建設基金はまだ不十分

仲原議員

建設基金の積立が不十分で、本町の庁舎建設をと、十何年前から言ってきた。町長は任期中に庁舎建設の意志があるのか。明確な答弁を。

総務課長

庁舎建設基金は、五億五、五〇〇万、平成八年度の貯金利息一七〇万を加えると、五億五、七〇〇万前後になる。

町長

庁舎建設は町民の願いである。出来るだけ早い実現をと思っている。しかし、



町民の願い、庁舎建設はいつになる

仲原議員

一人一人の人間にとって、又、町全体にとっても健康である事の喜びは大きいものである。町民の健康のため、検討・研究していると思うが、今後の予定は。

保健課長

昨年から新たに歯科保健事業を始めた。三歳児の段階で、80パーセントが虫歯の保有者である。健康はまず虫歯予防からと言われている。

健康は町民の宝、今後の対策は

健康教室等と歯科保健事業も開始

仲原議員

いる。従来の栄養教室等の指導と併せてやってみよう。糖尿病等の生活習慣病もあり、体力づくりの為に10マイル歩こう運動も進めて行きたい。

住民課長

国民健康保険は、昨年に比べて下がっているが、老人医療が年々上がって来ている。総合的な対策が必要。



保健行政の拠点、健康センター

二、三年で甲佐大橋から松橋インター迄の開通は

中央・甲佐両町で推進協議会が発足

仲原議員

甲佐大橋の開通を、地元民は首を長くして待っている。橋の完成はいつなのか。又、その後の松橋インター迄はどのような計画がなされているか。

耕地課長

甲佐大橋は、工期四年、完成は平成十三年二月末に完成の予定である。乙女・

大沢水（中央町）線については、平成十一年に新規採択事業を受ける為の計画を進めている。工事計画については、県からの採択後になる。

町長

甲佐大橋は、熊本空港に通ずる道になる。全力を尽くしてがんばりたい。



完成は平成13年2月予定（甲佐大橋）

佐藤 義郎 議員

農家が自立できる農業政策を

農地の保全と所得の向上を

佐藤議員

農産物の輸入により国内の自給率はカロリー計算で四二パーセントに達しており、日本の農業は衰退の一端をたどっている。外国農産物の輸入については一定の規制を加え、同時に農産物の価格保証制度を確立し農家の皆さんが農業で生活できるように、政府の方針を転換させることが急務だと思ふ。町長は町民の代表として農業の直面している深刻な事態を政府に対して明確な態度と方向を打ち出す必要があると思ふ。

町長

国の考え方を私達が変わるのは大変難しいが、国から押しつけられている現状にある。農業も高齢化で耕作者が少なくなり将来は不安である。農地保全管理も問題であり、作成中の農業ビジョンの中で考える。

佐藤議員

農業問題の中で価格は最大の問題である。生産者と消費者を直結する青空市場の拡大、青空市場での保冷库を設置しての農産物の加工販売を考えたらどうか。また有機農業も積極的に取り入れ、契約栽培でも可能な政策をやつたらどうか。

町長

農産物の流通においても青空市場、都市への販売、宅配等考え、今の低価格農産物の所得の向上を考えた。

佐藤議員

農業土木に關しても耕地整理に対する分担金、負担金を長年支払わなければならぬ。それに対しての補助金等の検討をぜひお願いしたい。

介護保険はこのまま導入してよいのか

平成12年に向けて勉強中

佐藤議員

介護保険が平成十二年から施行されるが、市町村での保険料の徴収や介護の認定業務等をやらなければならぬ。高齢化率の高い町村は保険料も平均より高くなり

はしないか。認定においては、認定したもの以外は今は介護を受けられなくなるといふ人が、今まで受けていた人が介護を受けられなくなる可能性がある。また介護を受ける人は実質一割の負担があり、これは保険あつて介護なしということになりはしないか。介護のサービス事業には民間も参入してくるが、事業経営ということでは本来のサービスが出来るのだろうか。介護保険の事務的な面においても大変になる。認定作業は一町では



甲佐の特産品（アリアム）

無理で広域連合で取り組むというのを広域連合を作る第一の理由に上げることはいかがなものか。

町長

国会でも一年間にわたり審議をし成立したのだが私達もまだ勉強不足であり全部を把握できない。半信半疑ではあるが、講習等を受けながら進めて行きたい。

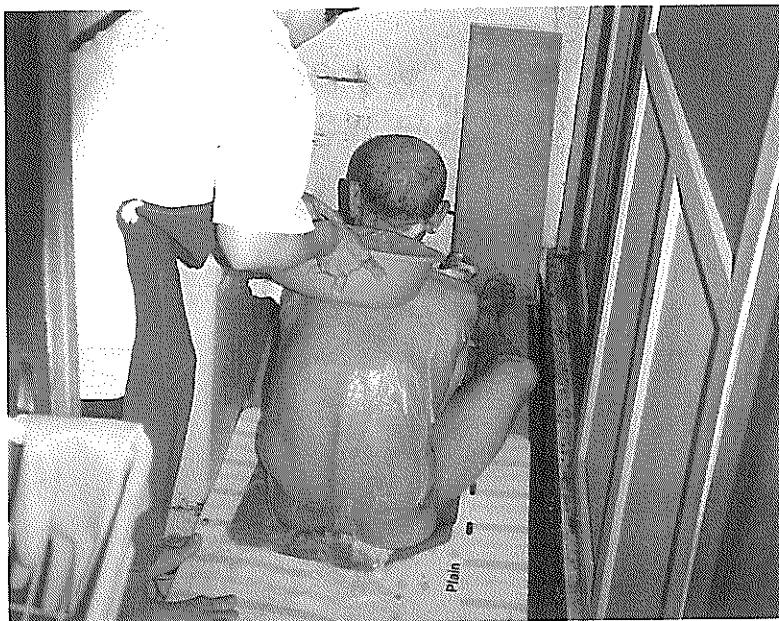
佐藤議員

保育料が第三子から半分になると聞いているが、も

う少しサービスをする必要はないか。今度の予算で新しく五歳未満の子供の入院費が無料になったが、若者が定着するうえで六歳未満児までの無料化が必要と思ふ。

町長

保育料の補助については検討したい。またその他の子供の問題についてもエンゼルプランの中で努力をしたい。



ホームヘルパーによる介護風景

農村社会を守るには

町づくりは生涯教育で

本田議員

昔ながらの農村社会を守り、国土、農地を守る時、基幹産業たる農業を考えるべきではないか。

町長

町づくりは、農業を体験し食べ物大切さを知って農業を理解するというように生涯教育からの出発をしなければならぬ。

新規就農者について

本田議員

不況の折、失業者等が増えている。また退職者が新しく農業に就かれれば我が町の発展につながるのではないか。

経済課長

新規就農者に対する町単独の助成制度はない。国の方では新規者には、農業大学の就学、先進農家に泊まり込みでの農業技術を取得される方に就農支援基金がある。又、就農の際の準備

基金や経営開始資金として機械の導入等の資金制度があり全て無利子である。これについては経済課が取り扱っている。

公民館活動について

本田議員

農村社会を守る中で、公民館を拠点とした部落活動が大事ではないか。

町長

ご指摘の通り地方分権は、自分達で町をつくり、住民が参加する町づくりでなくてはならない。部落公民館はリーダーを育成するのが大切であり、私達も一生懸命やっていく。

少年の健全育成を図れ 先生の信頼が必要だ

本田議員

報道によれば教職員の資質の向上で採用の前で教育実習をされていると聞く。我が町に於いては先生方の評価はどうされているか。

豊永

新採一年目で、教科の指導、福祉、農業の体験をさせ、広い教師ということを取組んでいる。評価については学校長が行い、子供に対する教科や生活の指導、本人の研究姿勢が対象である。

本田議員

子供と先生が接する場合、自信がない、不安でたまらないとあったが、事件、事故に対応できる情熱のある先生が必要なのではないか。学校教育課長
子供達にとっては先生の信頼が一番心強いもので、遊びを通して子供と教師の信頼をつくるべきと思う。



先生と児童と一緒に遊ぶ甲佐小校庭

指導者の招へいを

本田議員

長野オリンピックでは日本の選手が国民に感動的な夢を与えた。我が町において子供の特性を伸ばす為に、指導者を招く考えはないか。社会教育課長

長距離指導者の確保という要望書が出ている。指導対象として中学、高校生あたりと思われ、現場の受け入れ等の条件があるが、今後調査、研究をしたい。

町長

体協からも陳情を受けており、計画書を出させ、受け入れ体制をやって考えたかと思っている。

町長の施策について 全力をつくしている

本田議員

益城橋岩下線で町長は過去において県の代行事業で絶対自信があるといわれたが、これは公約であり町民に結果を出さなくてはならないとすると町民を欺くということだ。

町長

この事業については中央からの過疎代行に時間をとっている。現在過疎代行を強行に言っている。

大谷橋より城平橋への道路整備を 中山間整備事業で計画している

本田議員

耕地課長

大谷橋より城平橋への河川管理道の整備について、この道路はガードレールがなく子供等が転落して危険なので早急にやって欲しい。
この道路は未舗装でありガードレールもない。且一年度からの中山間総合整備事業で幅員四米五十で計画をしている。

第一回甲佐町公民館大会



盛大に開催された第一回公民館大会

久留米・瀬高・柳川を訪ねて

本町議会では、去る二月十七、十八日にかけて福岡県久留米市、瀬高町、柳川市の農業、河川公園、町づくりの先進地研修を実施致しました。最初に研修した久留米市緑花流通センターは昭和五十年に十三万三千㎡の敷地に市場機構の大型化を確立し、共同集出荷販売の拡大と流通機構の改善を目的に完成しています。施設の中には植木集荷所、花き出荷所を設置、さらに植木、花き、盆栽、鉢、園芸資材、モデル庭園など延べ五万七千㎡に及ぶ展示即売場が設置されていました。この展示即売場は業者も一般の人も自由に気兼ねなくいつでも利用できる緑のデパートのようでした。またその隣接地に「花き市場」が新設され、折りしも当日はセリが開催されており、シクラメン、ランなどの鉢物が所狭しとセリを待っていました。久留米市の植木、花きの年間販売高は四十七億円とされています。

続いて視察したのが瀬高町にある一級河川の矢部川に整備されている「中の島公園」でした。この公園は矢部川



花市場の視察風景



中の島河川公園の説明を受ける
甲佐町議会（瀬高町役場）

の中洲で面積七万㎡、東西に長く延びた静かで大きな公園で、樹齢三百年と言われる楠の林は国の天然記念物に指定されており、年中多くの家族連れで賑わっているそうです。この公園管理にはシルバー人材センターを利用しておられました。

本町でも高齢化も進み、多くの公共施設の管理にはシルバー人材センターの設置が望まれるところです。

最後に視察したのは柳川市内でした。柳川は城下町として有名で、水郷柳川として水路を船頭に案内され遊覧船での風情と情緒と町並みや北原白秋の生家と記念館、柳川藩の歴史を語る迎賓館や松濤園は多くの観光客を呼び込む大きな要因と思われました。本町も現在は加藤清正以来の大井手川の改修に取りかかっているが、今後この大井手川の景観づくりを町活性化の起爆剤として再生を図るべきだと願い、研修報告と致します。

新しく条例が改正されました

◎満5歳未満児まで入院費用が無料へ！

今まで満4歳未満児まで入院費用が無料化していましたが、平成10年度より更に引き上げを行い満5歳未満児までに対して入院費用が無料化されることになりました。

◎育英奨学基金廃止、引き続き町の一般会計で奨学金を支給！

育英奨学金は今まで寄付を基金に積立て利息運用によって運営されていたが、現在では金利の低下により運営が困難になった為この基金を廃止して、今後とも安定的に育英奨学金が支給できるように町の一般会計で対応することになりました。

◎林業事業に関する役場の担当課を変更！

今まで役場では林業事業のなかでソフト事業は経済課、ハード事業は耕地課で担当していましたが、平成10年度より総て林業に関する事務は経済課で担当することになりました。

◎一般廃棄物の処理業者及び清掃業者の許可期間は2年間に延長！

今まで甲佐町の一般廃棄物の処理業者及び清掃業者の許可期間は1年間と定めていたが、平成10年度から許可期間が2年間に延長されました。

◎グリーンセンターの使用料アップ！

グリーンセンターの使用料については、消費税のアップについてその都度改正は行われてきたが、基本的な使用料は昭和49年開設以来、今日まで据え置かれて来た。平成10年度は前年度より使用料が20%アップされた。

◎道路占用料が変更になりました！

本町の道路占用料は、昭和43年度に制定されて今日まで改正されていなかったが、国道の占用料が平成9年度より増額改正されており本町も平成10年度より道路占用料を増額することに改正された。

これだけは 聞いておきたい

今期提案された条例 14 件および各合計予算案について審議がなされました。
以下、審議の論点を要約してお知らせします。

論点

条例・予算審議より

Q & A



選手強化策に優秀な指導者の招へいがのぞまれる。

陸上競技の 専門指導者の 配置を!!

Q 1

甲佐10マイルマラソンが全国的に有名になってきているものの地元甲佐出身者の出場は少ないと聞いている。健全育成・そして地元の発展の見地からも中学校に優秀な指導者を招き入れる事も必要ではないのか。

A 1

指導者招へいについては、賛成である。ただ受入体制を整える必要があり、社会教育課に計画書を提出させている。ぜひ指導者を入れたい。

教育カウンセ ラーとは?

Q 2

教育カウンセラーはどのような子供を対象に、どのような仕事をしているか

A 2

週二回、不登校の児童生徒を対象に家庭訪問や教師への子供達に対する教育的



将来は民間委託への移行も必要では?!

龍野小 プール改修の 必要性は?

Q 4

龍野小のプールの改修費が計上されているが、その必要性は?

A 4

全面的に老朽化が進み、配水管も腐食している。機械室、倉庫、便所も改修が必要だ。

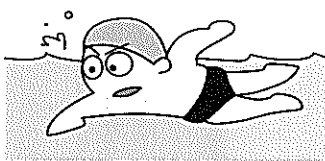
幼稚園・保育園 の民間委託への 町の考えは?

Q 3

幼稚園、保育園の民間委託を考えて職員数を減らしたかどうか。

A 3

昨年、緑川保育園の定員を下げたが今後も民間委託、民間移行については考えていきたい。



地方消費税は 消費落ち込で減額 補正!!

Q 5

地方消費税交付金が、三四〇〇万円を減額補正されているが。

A 5

消費税の五パーセントの中から一パーセントの二分の一が市町村交付金で配布されるが、消費が落ち込んだこともあり、試算どおりにはいかなかった。

ニラを素材に甲 佐町の特産品販 売に着手!!

Q 6

特産品販路開拓事業とは?

A 6

平成八、九年度に商工会の方で特産品開発実行委員会を設立され現在、準備が進められており、平成十年度中に「ニラ」を素材にした特産品の販売を計画している。六〇万円の事業費の内、半額を町が助成するものである。

健康福祉センター 入口は環境にマツ チした橋を設計!!

Q 7

健康福祉センター入口に橋を架ける計画だが、金額も多額だしその必要があるのか。

A 7

大井手川の水環境にマッチした橋で検診車が入るのに耐える設計で計画している。

育英奨学金の 支給要件は?

Q 8

育英奨学金は、どのような条件で支給されているのか。

A 8

一学年三・四名の方に公立高校の授業料分を支給している。学校長の推薦と教育委員の審査が必要になる。

福祉センター入口周辺の大井手川も順次整備されている。

今回、水道法が改正されたが内容を知らたい。

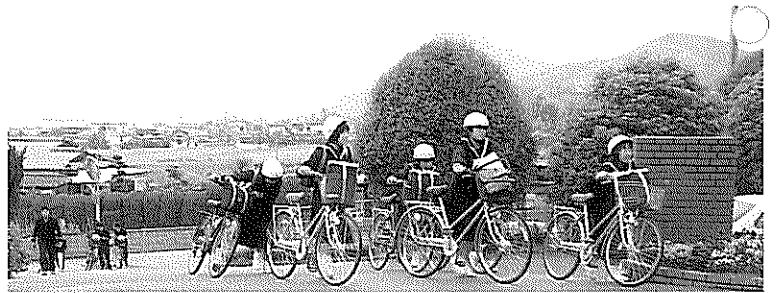
Q 9

町指定業者以外 でも給水工事が 可能に

A 9

国の規制緩和に伴い給水装置の工事において全国統一の主任技術者の資格者であり規定要件をクリアしていれば町の指定業者以外でも工事を受注できる様になった。

高校進学する毎年3～4名の生徒に奨学金を支給!!



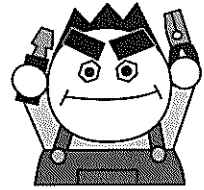
対前年比一割減!! 国保会計はこのま まで大丈夫?

Q 10

本年度の国民健康保険特別会計予算は対前年比、約一割減の予算編成となっており、この予算で一年間の運営ができるのか心配するなどの様な内容になっているのか。

A 10

予算的には大変厳しい状況だと判断しており、平成九年度の実績を今回計上している。基金も底をつく状況であり一般会計からの繰入も予定している。この様な状況を考えると、平成十一年度には、保険税の改正も視野に入れ考え直す事も必要かと思う。



請願・陳情

◎地域とも補償の支援に関する請願

継続審査

◎全国一律最低賃金制度の確立と本年度の最低賃金の改善に関する意見書の提出を求める請願

不採択

◎公的年金改善に関する陳情

採択

◎熊本営林局矢部営林署の存置に関する要望書

採択

◎森林・木材産業の振興並びに輸入木材の削減に関する意見書の採択について

採択

意見書提出

◎年金制度改善を求める意見書の提出

採択

◎熊本営林局矢部営林署の存置に関する要望書の提出

採択

◎森林・木材産業の振興に関する意見書の提出

採択

◎輸入木材の削減を求める意見書の提出

採択

※意見書・要望書の採択により本町議会では内閣総理大臣ほか各関係大臣並びに関係機関宛に提出しました。

懲罰

高木英吉議員の一般質問の内容が「不適切」であるとのことから懲罰動議が提出され、今定例会において懲罰特別委員会を設置し、委員会において慎重に審議した結果、高木英吉議員が議会に対して陳謝することを決定した。

これは、三月十二日に行われた一般質問の発言で乙女小校舎の新増築工事を取り上げ、「工事を受注した地元の下請・孫請業者の利益が少なく聞いています。執行部は今後、町発注の工事については利益が上がるように配慮して欲しい」と発言。ところが、議員の妻が経営する建設会社も乙女小新増築工事の孫請工事を行っていた為、他の議員から「議員の地位を利用した利益誘導の発言」とクレームが付いた。懲罰特別委員会では議

会議員の政治倫理要綱に照し審査した結果、高木英吉議員が本会議において陳謝することを決め、本会議で高木議員は「乙女小建設の件について、議員の地位利用と判断される発言について陳謝し、町民、議会並びに執行部に多大の迷惑をかけて深くお詫びします。今後は品位を高め、教養を深めるように努める」と謝罪され、高木議員の一般質問での本件に対する発言取り消し願いは、賛成多数で承認された。

熊本県議長会表彰

さる、三月五日の熊本県町村議長会総会において、本議会から議員四名が永年勤続表彰を受け、三月定例会の開会日に表彰式が行われた。この表彰は議員在籍十五年以上の町村議会議員に対して行われるもので、本議会から佐藤義郎議員、金柿啓一郎議員、北畑常博議員、西坂親議員が表彰された。



金柿啓一郎議員



佐藤義郎議員



西坂 親議員



北畑常博議員

さんじ休憩



朝のドラマ「天うらら」が始まった。

女の身でありながら大工への道を志す勇氣の世話をする家族、周囲の人々のおもいやり、私達の日常生活において大事なことをドラマは教えてくれる。

今日、景気回復のきざしは見えないが平成十二年度には介護保険がスタートする。

介護保険の内容が不透明なままではあるけれども、ドラマを拝見しながら私達は今から介護保険に対して心の準備をしなくてはならない。

◎ 吹き流し、不景気風も通り抜け。

傍聴席から一言

介護保険制度に期待!



後藤ハルミ (上揚)

私はホームヘルパーの仕事をしています。平成12年4月1日実施に向けて私達は本格的な準備に取り組んでいるところです。この数年間は国会等で高齢者問題のあらゆる審議がなされてきました。それは40歳以上の国民に毎月保険料を払ってもらい被保険者が寝たきりや痴呆などで常に介護を必要とする状態になったり、常時の介護までは必要ないが家事や身支度等、日常生活に支援が必要な状態になったとき、介護保険からサービスを受けることができるということです。

この運営主体は町になっている訳ですが甲佐町でも平成10年4月1日付けで介護保険係を福祉生活課に設置されています。新規にはじまる法的な事業はとても困難なことではないかと思えます。平成12年4月1日に向けて川が流れだします。

私達は現在13名のホームヘルパーで毎日(365日)訪問の仕事をしていますと現場でのさまざまな声を聞くことがあります。健康な人間にとっては何てこともない小さなことでも病弱な方達にとっては夜も眠れられないことであったり、また逆に小さなことでも大きな喜びと感じられる方が多く、その度に仕事への意欲と喜びを実感しているところです。毎月町内に配布している“ヘルパーだより”にも御紹介していますように現在、早朝(7時15分)から夜間(11時まで)を活動時間としていますが、十分なサービスを提供するためには

- ①パートヘルパーの確保
- ②ホームヘルパー車の整備
- ③研修会の実施(資質の向上)
- ④活動拠点の整備

等、今後の課題となっています。

福祉の分野は、計算できないアルファの部分が多く、その部分だけで人間は心が潤うものです。ホームヘルパーを利用している方々の声の代表として、今後、大きく変わろうとしているホームヘルプサービス事業のよりよい展開を願ってやみません。

表紙

仁田子部落は昭和42年の益城橋の完成を祝い橋祭りを開催し、今年で30回目を迎える。仁田子部落は住民の総参加による公民館活動が認められ平成9年度に熊本県公民館連合協会より表彰された。

